

研究名：

成育医療研究センターにおける総排泄腔遺残症の検討

1．研究の目的

国立成育医療研究センターで尿道下裂および停留精巣の治療をされた患者さんについて、年齢、性別、基礎疾患、採血の結果、術後の経過、等をカルテより収集し、手術適応・合併症・予後などについて臨床的に検討することで、患者さんへの情報提供の一助となることが目的となります。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2002年4月～2023年3月までの期間に当院を受診された総排泄腔遺残症の患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2029年3月31日

研究方法：上記の期間内に総排泄腔遺残症の治療をされた患者さん約60例について、年齢、性別、基礎疾患、採血の結果、術後の経過、等をカルテより収集し、手術適応・合併症・予後などについて臨床的に検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、基礎疾患、採血の結果、術後の経過、等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究結果は学会発表や学術論文として公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 泌尿器科 長谷川 雄一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7018）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 泌尿器科 長谷川 雄一